

お役に立てるお薦めの

4冊



イルカと否定神学 対話ごときでなぜ回復が起こるのか

斎藤 環 著

オープンダイアログを紹介した著者が、その「思想」を可能な限り掘り下げてみようとした。なぜ、対話ごときで精神病が治るのか。対話とは何か、人が変わるとはどういうことか、回復にはどういう意味があるのか。ラカン、ペイトソン、バフチン、レイコフ、そして中井久夫の思想を介して、この魔法の謎を解く。

定価：2200 円(本体 2000 円 + 税 10%) / 医学書院



庭に埋めたものは 掘り起こさなければならない

齋藤美衣 著

なぜ「死にたい」が毎日やってくるのか、その理由を探すこころの旅。著者には自閉スペクトラム症により、世界になじめない感覚がある。さらに、急性骨髄性白血病に罹患し、病名を告知されなかった疎外感、「生き残ってしまった」罪悪感、摂食障害、繰り返し見る庭の夢……。それらはどこへつながっていくのか。

定価：2200 円(本体 2000 円 + 税 10%) / 医学書院



新生児学入門 第6版

仁志田博司 原著

高橋尚人、豊島勝昭 編集

新生児医療の基礎知識や考え方をまとめ、絶大な支持を受けてきたサブテキストの改訂版。原著者の遺した新生児に対する「あたたかい心」を大切にしながら、データやガイドライン、治療・診断の情報を更新・追加した。看護系学生をはじめ、新生児と家族の幸せのために日々励むすべての医療者必携の書。

定価：6380 円(本体 5800 円 + 税 10%) / 医学書院



さよなら、産後うつ 赤ちゃんを迎える家族のこころのこと

村上 寛 著

妊産婦の産後うつを予防したい。重症化を防ぎたい。その思いから、日本で初めて周産期メンタルヘルスに特化した大学講座を創設した著者が、「周産期のこころの外来」「周産期の父親の外来」での経験をまとめた。妊娠中～育児中の母親、父親、見守る家族みんなに知ってもらいたい「こころ」の話を丁寧に伝えていく。

定価：1760 円(本体 1600 円 + 税 10%) / 晶文社